

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
 担当課長名：前佛 和秀

事業の概要

事業名	一般国道450号（旭川・紋別自動車道） 遠軽上湧別道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道紋別郡遠軽町豊里 至：北海道紋別郡湧別町南兵村一区	延長	13.8 km		
事業概要	旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの高規格幹線道路である。このうち、遠軽上湧別道路は、紋別郡遠軽町豊里から紋別郡湧別町南兵村一区に至る延長約13.8kmの自動車専用道路である。				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、現道の課題箇所を回避することで、高次医療施設への救急搬送時における速達性・安定性向上による地域の安心できる暮らしの支援、洪水浸水や暴風雪などの災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築、輸送時の物流効率化や観光時の周遊性向上の支援が期待される。				
全体事業費	約300億円	計画交通量	約8,400台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1 (1.1)	総費用 235億円 （事業費：202億円 維持管理費：34億円）	総便益 260億円 （走行時間短縮便益：237億円 走行経費減少便益：15億円 交通事故減少便益：7.6億円）	基準年 令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C = 1.002 (交通量 -10%)	B/C = 1.2 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C = 1.02 (事業費 +10%)	B/C = 1.2 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C = 1.01 (事業期間 +20%)	B/C = 1.1 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策			信号交差点の回避（現況 30箇所 整備後 0箇所）により、速達性が向上。 【国道242号 遠軽～上湧別間の所要時間】 現況 28分 整備後 12分 [16分短縮]	
		事故対策			線形不良区間の回避により、安全性が向上。 【線形不良箇所】 現況 5箇所 整備後 0箇所 [全て回避]	
		歩行空間	-		注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活			高次医療施設を有する北見市、遠軽町への速達性及び安定性向上による、安心できる暮らしの支援。 【所要時間（北見市～遠軽町）】現況 80分 整備後 70分 [10分短縮] 【60分圏カバー人口（遠軽町）】現況 55% 整備後 76% [21%増加]	
		地域経済			紋別港～苫小牧港等の物流拠点間的高速ネットワークによる効率的な物流ルートを形成。 【所要時間（紋別港～苫小牧港）】現況 285分 整備後 269分 [16分短縮]	
		災害			洪水浸水想定範囲、地吹雪発生箇所の回避により国道機能を確保するとともに、災害時における代替路を確保。 【洪水浸水区間】現況 4km 整備後 0km [全て回避] 【地吹雪発生箇所】現況 3箇所 整備後 0箇所 [全て回避]	
環境		-		注目すべき影響はない。		
	地域社会			遠紋地域における周遊観光時の観光地間の移動時間短縮による、周遊観光の活性化。 【所要時間（遠軽～上湧別）】現況 28分 整備後 12分 [16分短縮]		
事業実施環境				・紋別市長、遠軽町長ら沿線自治体首長、高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会等より遠軽上湧別道路の早期事業化を要望。		

関係する地方公共団体等の意見  
 【北海道知事】  
 一般国道450号（旭川・紋別自動車道）遠軽上湧別道路を予算化することについて同意します。  
 本道における高規格道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域観光の振興、地域経済の活性化への貢献のほか、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。  
 「一般国道450号（旭川・紋別自動車道）遠軽上湧別道路」の整備は、農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、オホーツク地域の周遊観光等の振興、安全で確実な交通の確保、救急搬送時間の短縮など多くの効果を発揮するものと考えています。  
 令和3年度の新規事業として予算化していただきますとともに、早期の事業完成に向けて特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見  
 ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件  
 費用対便益 : 便益が費用を上回っている。  
 手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了 (R3.2.24)

採択の理由

費用便益比が1.1と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により救急医療活動、物流輸送、周遊観光の支援や災害時における道路機能の確保等の効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの、B/Cの上段は比布JCT～紋別市を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

# 新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

## 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
洪水浸水や暴風雪などの災害時においても機能する信頼性の高いネットワークを構築し、輸送時の物流効率化や観光時の周遊性工場を支援するとともに、高次医療機関への救急搬送時における速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしを支援するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	現道の国道242号は、地吹雪発生箇所が存在し、吹雪による通行止めが発生。また、洪水浸水区間を通過するため、洪水浸水時は、アクセス路の寸断や、大規模な迂回が発生。災害時の道路機能の確保、代替路の確保が課題。	北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・冬期災害に備えた安全な道路交通やライフラインの確保等による被害軽減を図るため、代替性確保のための高規格道路の整備等を推進する。 オホーツク連携地域政策展開方針(H28) ・防災関係機関や住民などの協働による防災・減災体制の充実・強化。
住民生活	遠紋地域は、高次医療は3次救急医療施設を管内で唯一有する北見市に依存しているが、カバー面積は全国平均の約8倍と広大。また、心疾患を担う病院は遠軽町の医療施設(1施設)であるが、遠軽市街の信号交差点により速達性や安定性が低下し、長距離輸送による死亡率が高い。救急搬送時の速達性・安定性向上が課題。	北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・基礎圏域中心都市と周辺市街地とのアクセス向上を図り、基礎圏域内外の広域的な交流を支えるため、都市間の時間距離を縮める高規格幹線道路網等の広域交通ネットワークの整備を推進する。 オホーツク連携地域政策展開方針(H28) ・観光や物流、暮らし、地域間交流を促進するための高規格幹線道路等の交通ネットワークの整備促進。
地域経済 地域社会	遠紋地域は、ホタテ漁獲量が全国トップクラスなど日本の食を支える生産地であるが、物流拠点まで遠く、長距離輸送が必要なため、安全かつ効率的な物流ルート確保が課題。また、「花回遊観光」や冬期の「流水観光」など、年間を通じて自然を活かした魅力的な観光資源が豊富であるが、移動時間短縮の改善ニーズが高く、周遊観光時の定時性、速達性の確保が課題。	北海道総合開発計画(H28.3閣議決定) ・広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進する。 オホーツク連携地域政策展開方針(H28) ・観光や物流、暮らし、地域間交流を促進するための高規格幹線道路等の交通ネットワークの整備促進。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価は整備前後ともにCランクであるが、脆弱度が0.88→0.50に改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、冬季においても安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されるとともに、拠点都市と重要港湾間のアクセス向上が図られ地域産業の活性化、地域医療サービスの向上に貢献するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	遠軽町	紋別市	8 (6)	0.88 〔C〕 (0.63) 〔C〕	0.50 〔C〕 (0.63) 〔C〕	10.98 (0.00)	0.13 (0.07)	0.39 (0.05)	○

事業の効率性
計画段階評価手続き完了（R3.2.24）

道路ネットワークの防災機能の上段の値は比布JCT～紋別を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。